

2010.11月号

平成22年11月15日発行

発行元 NPO法人陽だまり  
発行元住所 〒739-0043  
東広島市西条西本町27-37高貴ビル201  
電話 082-422-4115

## 主な記事

今年度の取り組み

赤木議員と懇談/デイサービス視察報告

代表「幸せとはなに」/会員のひろば

事務局だより

## 今年度も早や半年が経過。陽だまりの近況をお知らせします。

### 定期総会開催

平成22年5月15日(土)、東広島市民文化センターにおいて平成22年度総会を開催し、昨年度と同じメンバーが役員として再任されました。総会終了後は、お馴染みとなった茶話会。参加者からは、「陽だまりのヘルパーになってストレスがない、幸せを感じる」といった嬉しい声や、「障害者になってみて厳しさを思い知った。陽だまりにはNPOとして県や国に提言してほしい」という切実な気持ちが寄せられました。この日いただいた声を大切に、これからも住みやすい街づくりに向けて、一步一步取り組んでいきたいと思ひます。



### 今年度の重点課題

陽だまりは10年に渡る地道な活動を通して、「東広島のみちづくり」や「行政との協働」といった、より広い視野からミッションを考える団体へと成長しました。具体的には、次の3点に継続して取り組んでいきたいと考えています。

#### 1. 子育て支援

昨年度から取り組んでいる子どもの居場所づくり事業を、今年度も東広島市から補助金を受けて、夏休み9日間、秋休み2日間、春休み3日間の予定で行います。内容は、午前中2時間は勉強、午後2時間は工作やクッキング、ミニ遠足などの体験活動です。毎回終了後にはアンケート調査を行い、常設事業化へ向けて検討を繰り返しています。地元マスコミには注目されるようになり、中国新聞やNHKニュースに複数回取り上げられました。



#### 2. 交通問題

東広島市の交通は非常に大きな課題です。陽だまりは「移動サービス事業(福祉有償運送事業)」に留まらず、将来の交通のあり方にNPOとして取り組んでいきます。まずは、定期的に行われる「東広島市地域公共交通会議」の傍聴を通して現状を勉強しています。

#### 3. 協働

東広島市でも「協働」という言葉が盛んに使われるようになりました。しかし、「協働」の意味の捉え方には、行政と市民の間にまだ開きがあるように感じられます。そこで、陽だまりは認識を同じくするための勉強会の開催を行政に呼び掛けるなど、協働の素地づくりに取り組んでいきます。また、他のNPOにも呼び掛け、横のつながりをつくっていききたいと思ひます。



# 赤木たつお議員と懇談

7月15日、東広島市議会議員の赤木たつおさんと懇談する機会がありました。赤木議員は、陽だまりをはじめとしたNPO等が「移送サービス」を続けていくための仕組みづくりを、東広島市に働きかけ実現させたという実績を持っています。ここに概要を報告します。

## 市民協働のまちづくり

東広島市の『市民協働のまちづくり行動計画』によると、「住民自治協議会」が今後順次設立され、まちづくりを牽引する役割を担っていきます。詳細はまだわかりませんが、これに伴い、区長制度が廃止され、公民館の位置づけも変わるようです。私たちは、この構想が単なる行政のコスト削減のためのものにならないように、しっかりと見守っていきたいと思います。また、NP

Oと行政との協働のあり方については今後も議論が必要です。まずは市役所の中に、NPOとの橋渡しとなる専用の窓口が設けられることを期待しています。

## 交通問題

赤木議員とはまた、将来の交通システムについて意見交換をしました。交通弱者の移動の問題は大きな課題ですが、幹線道路は公共交通が担

い、枝葉（ジョイント交通）をデマンドタクシーやNPO等が担うなど、柔軟な考えが披露され、大変勉強になりました。



赤木議員と陽だまり理事

10月9日（土）、塩谷副代表と事務局スタッフ6人が、山口県防府市にある「夢のみずうみ村サービスセンター」を見学しました。当日は生憎の雨でしたが、予定通り10時に現地到着。出迎えてくださったのは、自らも利用者という廣海さん。「ここでは利用者が案内役を務めます。利用者だから、お金のこと以外なら何でもわかりますよ。」とのこと。建物に入

## 夢のみずうみ村

ディサービス視察

ル、調理室、木工室、手工芸室、リハビリ室、脳トレ&言語訓練室、映画館などがありました。メニューは約100種。



廣海さん(左)

らけ。だからこそ、「バリアフリー」の中で過ごすことが生きたりハビリになるのだそうです。食事はカフェテリア方式となっていて、自分で食事を器によそい、席へと運びます。このときに活躍

利用者はその中から好きなメニューを選び、自分で一日の過ごし方を決めます。また、施設内では出来るだけ杖や車いすを使わないことになっています。実生活はバリアだ

していたのがワゴン。車いすの人も、ワゴンに食事を乗せて自分で席まで運んでいました。人にやってもらうのではなく、自分のことは自分でする。職員はあくまでも見守り役。「私が私らしく私の人生を生き抜く」姿が目に焼きつきました。他にも村内通貨「ユーム」やカジノなど随所に工夫が凝らされていて、刺激的な一日となりました。



ここでは、一日約100名が利用されるのだとか。廣海さんに続いてさらに奥に進むと、食堂となる大広間に出、それを囲むようにプー



# 幸せとはなに

代表 廣瀬 長子

春頃であったか、内閣府が実施した「幸福度」についての調査結果が新聞に小さく載っていた。15才～80才までの男女が対象で、4000人のうち2900人から回答があったという。年代別にみると30代の60%が「幸福度」を実感している。40代、50代が55%、60代が50%、70代が44%の結果となり、年令が高くなるにつれて「幸福度」を実感する割合が低くなるということである。

私はこの調査の「幸福度」は、「満足度」あるいは「安心度」に置き換えられるのではないかと思う。私自身もそうであったように、30代は若く、何より健康ではつつとしていた。将来に不安がなかったわけではないが、それ以上に将来への夢や希望の方がはるかに大きかった。

70代になると「幸福度」を実感する前に、どうしても避けて通れない気にかかること、不安に思うことを考えるようになる。まず一番気にかかるのは自分自身の健康であろう。次に長年連れ添った配偶者や大切な人を失うことへの悲しみが考えられる。さらに混沌としている今の日本はこれからどこへ向かうのか、私たちの生活はどうなるのか、年金は、医療は、介護は。考えれば、考えるほど不安で憂鬱になってくる。

私もこのような不安や心配を感じながら日々生活しているが、以前よりは「何とかな

る」と楽観的に考えようとする意識が強くなったように思う。というのは、5年前に大切な連れ合いを亡くし一人になった時、自分がどんなに努力しても自分の力だけではどうにもならないことがあると実感したからである。そして、深い悲しみや苦しみを体験すると少々のことではへこたれなくなることも実感した。そうでなければあの時の辛い体験は何だったのか、無駄にしてはならないという思いが強い。

私を「寂しいだろう」とか「大変だろう」とか、思われることがあるかもしれないが、「物は考えよう」と思うようにしている。確かに70才に手の届く年になると不安な時も寂しい時もあるが、あの5年前の悲しみをもう二度と味わわなくてもよい、そして私が元氣だったので十分に看病できた、と思いを換えればむしろ幸せな気持ちになるから不思議である。

かけがえのない人を失って初めて気づかせてもらうことも多々ある。「物は考えよう」で幸せと思えばそのような気分にもなれる。自分の力だけではどうにもならない時は、社会や地域そして家族に助けを求めればよい。自分でできるうちは自分で考え行動する。そして余力が残っていればそれを地域に返していけばいいのではないかと考えている。

## 会員のひそば

この度6月に陽だまりに入会させて頂きました。早々に福祉有償運送運転者講習がありまして、早速受講させて頂き、9月より少しずつ活動をさせていたいております。まだ未熟ですので戸惑いながらも、ご利用者様が安心してご利用頂けるよう、温かいサービスと笑顔をお届けし、自らも楽しみながら少しでも地域の方のお手伝いができればと、思っております。また、何よりお世話をしてくださる皆様方の心温まる笑顔で元気をいただき、これからの出会いを大切に頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

三船みどり

# 事務局だより

## 有料・移送サービス

- 今年度は 10 月末現在で、37 名が新しく陽だまりの会員になりました。うち 13 名が活動者として登録しています。
- 6 月 12～13 日、「福祉有償運送運転者講習会」を開催し、県内各地から集まった 25 名が受講しました。陽だまりからは 9 名が受講し、移動サービスの運転者としてデビューしました。一方で、71 歳を迎えた 3 人の方が引退しました。今までたくさん助けていただきました。ありがとうございます。なお、講習会の費用として西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部様から 25 万円のご寄付をいただいています。



## 訪問介護

平成 22 年 7 月 11 日（日）、東広島市中央公民館で社内研修を行いました。感染症、食中毒の講義を行った後、調理実習。今回は、調理実習の社外研修を受講したヘルパー（佐伯、田原、松井）も伝達講習しました。テーマは「うどんスープを使った調理」でした。うどんスープと限られた食材（2～3 品）、限られた時間（50 分）でしたが、各グループ、食材を余すことなく何種類もの料理が完成！！高齢者向けに配慮された薄味で、食材の味を生かした工夫がされていました。みんなで楽しく試食をした後、サービスに対して日頃思っていることや、疑問などを話し合うケアカンファレンスを行い、有意義な研修となりました。

## 居宅介護支援（ケアマネジャー）

今年度はケアマネジャー 4 名体制（うち 3 名が兼務）でスタートしましたが、より組織的にサービスを提供するため、兼務を減らし 3 名体制へと効率化を図りました。10 月からは、市川、岡本、佐々木（ヘルパーと兼務）が「誠実・迅速」をモットーにがんばっています。

### ホームページ完成！

陽だまりのホームページが完成しました！陽だまりの理念や事業の紹介、活動報告、そしてスタッフによる「陽だまり日記」など盛りだくさんの内容です。ぜひ訪問して下さい。

ホームページアドレス

<http://www.npo-hidamari.or.jp>

### 生涯学習フェスティバル

11/6-7 に行われた生涯学習フェスティバルのパネル展示で、子育て支援事業、移送サービスを紹介しました。



### 空き家をさがしています

「子どもの居場所づくり」のための場所を探しています。西条市街地で空き家・空き地を貸して下さる方をご存じないですか？そのような情報がありましたら、ぜひ事務所までご連絡ください。

よろしくお願ひします！